

-現代の精神分析は、さまざまな精神疾患をどう理解しアプローチしているか-

2024年度
プログラムの
ご案内

精神分析 研究会・神戸

臨床に携わってある年数を経ると、支持的セラピーや薬物療法、マネジメントだけでは手に負えない人たちがいることに気づくようになります。今年度は、そのような人たちの心の中がどうなっているのか、それがどのように治療関係に影響しているのかを学びます。疾患としては、ヒステリー（解離と転換）、うつ状態、精神病、ナルシズムと倒錯、ASDとADHD、子どもの虐待等を取り上げます。

なお、当セミナーは日本精神分析学会の認定を受けた研修グループです。コロナ禍における特例としてオンライン開催が認められてきましたが、感染状況も下火になってきたため、2024年度はハイブリッド開催（現地とオンラインの併用）を開始します。皆様とともに交流できる機会を大切にしたいと願っています。

*ハイブリッド開催は5月、6月、9月、12月を予定しています。会場は小林メンタルクリニックになります。席に限りがありますので、お申し込み方法は後日事務局よりメールでお知らせ致します。

代表：小林 俊三

1. 精神分析セミナー

オンライン&ハイブリッド開催

事例検討と系統講義のセミナー。さまざまな学派の講師をお招きし、幅広く精神分析について学びます。

参加費 60,000円（臨床心理系大学院生 30,000円）

開催日時 日曜日（月1回・年間10回）12:00～16:45（第4回は、16:00～20:45）

2. 臨床講読会（講師：小林俊三）

オンライン開催

精神分析の重要な著作をグループで検討し、参加者が文献理解に必要な力を身につけることを目指します。初学者の方を歓迎します。

参加費 20,000円（精神分析セミナーにご参加の方は 10,000円）

開催日時 第2木曜日19:30～21:30

3. グループスーパービジョン（講師：小林俊三）

オンライン開催

小グループの参加者が毎回順番にケースを発表し、参加者全員でディスカッションしていきます。

参加費 20,000円（精神分析セミナーにご参加の方は 10,000円）

開催日時 第4土曜日19:00～21:00

1.精神分析セミナー

-現代の精神分析は、さまざまな精神疾患をどう理解しアプローチしているか-

日時：各回とも日曜日12:00～16:45（第4回は16:00～20:45）

構成：第1部 事例検討（12:00～14:00）第2部 系統講義（14:15～16:45）

2024年4月28日（日）

01. パーソナリティ内部の構造論

衣笠 隆幸 先生

精神科医 広島精神分析医療クリニック

これは第二次世界大戦後の英国における統合失調症、重症の境界例を対象に治療を行った、Bion, Rosenfeld, Steinerなどのパーソナリティ論である。

2024年5月12日（日）ハイブリッド開催

02. 現代のヒステリー：解離と身体化を理解する

飛谷 渉 先生

精神科医 大阪教育大学保健センター

ヒステリーという病名が姿を消しても、ヒステリー者は変わらず存在します。本講では、ヒステリーの現代的意義とその内的対象関係の本質について、特にトラウマとナルシズムの理解と治療に焦点化して解説します。

2024年6月16日（日）ハイブリッド開催

03. 摂食障害

小林 俊三 先生

精神科医 小林メンタルクリニック

Bionは「経験から学ぶ」のほぼ冒頭で、「乳児は乳房から母乳その他の快適な環境を受け取る。それだけではなく愛、理解、癒しでもある」と書きました。摂食障害はこのようなよいものの「取り入れ」ができなくなる病理であると考えられます。本講義では、取り入れを邪魔する要因を描き出し、治療の展開に何が必要になるかを皆さんと共に考えたいと思います。

2024年7月21日（日）オープンセミナー

04. 精神病水準の理解と介入

阿比野 宏 先生

精神科医 Tavistock Clinic

このセミナーでは、まず精神病状態についての精神分析的理解について、その情緒的・身体的な体験の側面を中心に考え、分析的治療の中で、どのように患者とかわっていくことができるのかについて議論していきたいと思います。

※この回はロンドンからのオンライン開催により16:00～20:45となります。

2024年9月8日（日）ハイブリッド開催

05. 抑うつ状態 — 対象喪失、主体性の萎縮、自己の喪失

平井 正三 先生

臨床心理士 御池心理療法センター

抑うつ状態は、フロイトの「喪とメランコリー」以来、精神分析において理論と臨床の重要な関心であり続けています。本講義では、対象喪失から、自己の喪失に至るまで主体性という観点から抑うつ状態について検討していきたいと思います。

2024年10月20日（日）

06. 境界水準の理解と介入

吾妻 壮 先生

精神科医・臨床心理士 上智大学

境界水準のパーソナリティの問題を抱えた患者さんは臨床現場でもっと頻繁に出会う患者さんであり、その病理をよく理解することは必須です。本セミナーでは、その機能水準や構造化の多様なあり方、さらには介入法についてお話しします。

2024年12月22日（日）ハイブリッド開催

07. ナルシズムの組織化と心的退避、倒錯

皆川 英明 先生

精神科医 紙屋町こころのクリニック

Klein派ではナルシズムは投影性同一視の概念と対になって発展して羨望の概念に結実し、さらにRosenfeldの破壊的自己愛を経てSteinerの心的退避の概念へと至りました。これは重症例の理解に大きな助けとなっています。

2025年1月19日(日)

08. ADHD

福本 修 先生

精神科医 代官山心理・分析オフィス

ADHDは神経科学的な基盤があって一定の特徴と経過を有する疾患で、中核症状は正常からの量的偏移として捉えられています。障害に入らない程度のADHDの質的特徴は、養育因やパーソナリティの問題と区別が困難ですが、〈容器〉-〈内容〉という精神分析的な関係性の観点からの理解についてお話しします。

2025年2月9日(日) **オープンセミナー**

09. 何が精神分析的アプローチの対象か？

仙道 由香 先生

臨床心理士 新大阪心理療法オフィス

精神分析的なアプローチは、個人心理療法は勿論、それ以外の場面で経験する困難さを理解するうえでも活用できます。皆さんも自分自身の体験を思い浮かべながら参加してください。改めて共に考えてみましょう。

【参考文献】

- ・エヴァンス, M.(著), 仙道(訳), 2022, 「チーム医療の現場を支える精神分析的アプローチ: 精神病のコミュニケーションを解き明かす」, 誠信書房.
- ・Lucus, R., 2009, Psychotic Wavelength: A Psychoanalytic Perspective for Psychiatry, Routledge.

2025年3月9日(日)

10. 子どもの虐待と愛着障害

鵜飼 奈津子 先生

臨床心理士 大阪経済大学・大学院

幼少期に虐待を受けたり、ネグレクトの環境下で育ったりする経験は、子どものこころの成長に、どのような影響を与えるのでしょうか。そうした子どもは、他者との間に安定した愛着関係を築くことができるのか、考えたいと思います。

2. 臨床講読会

- ルディ・ヴェルモート著「リーディング・ビオン」(金剛出版) -

Bionのオリジナルな論考に取り組むことは、私たちが今、精神分析的臨床を行う上でかけがえのない体験になります。とはいえ、難解な内容のために途中で挫折した方も少なくないでしょう。そのような方のために、名著と言われる本書をグループで読む体験を提供したいと思います。初学者の方も歓迎します。(小林俊三)

- **テキスト** ルディ・ヴェルモート著「リーディング・ビオン」(金剛出版)、Rudi Vermote : Reading Bion (Routledge)
- **講師紹介** 小林俊三先生 (小林メンタルクリニック)
- **対象の方** 医師、臨床心理士、公認心理師、臨床心理系大学院生。テキストを読んで参加し、年1回程度レジュメ作成・発表を担当できる方。なお、「精神分析研究会・神戸」入会者を優先いたします。
- **開催日時** 第2木曜日19:30～21:30
2024年・・・4月11日 / 5月9日 / 6月13日 / 7月11日 / 8月8日 / 9月12日 / 10月10日 / 11月14日 / 12月12日
2025年・・・1月9日 / 2月13日 / 3月13日

3. グループスーパービジョン

- 分析的思考を身につけるグルークワーク -

5～10名の参加者が毎月順番にケースを発表し、グループ全員でディスカッションしていきます。他の人のケースの展開を考え、コメントすることによって、分析的思考が身につけていきます。

- **講師紹介** 小林俊三先生 (小林メンタルクリニック)
- **対象の方** 週1回50分のケースを持っている方で、年1～3回発表できる方。前年度の参加者を優先いたします。
- **開催日時** ※原則 第4土曜日19:00～21:00
(第5土曜) (第3土曜)
2024年・・・4月27日 / 5月25日 / 6月22日 / 7月27日 / 8月24日 / 9月28日 / 10月26日 / 11月30日 / 12月21日
2025年・・・1月25日 / 2月22日 / 3月22日

申し込み方法

1. ホームページ<https://bunseki-kobe.com>の申込みフォームから、**4月14日(日)**までにお申し込みください。
2. 参加資格をご確認の上ご連絡いたします。
3. 参加受付の返信を受け取られた方は、下記振込先に該当の参加費を、**4月17日(水)**までにお振り込みください。

お申込みはこちら

- **振込先** 三井住友銀行（神戸支店営業部・店番号500）・普通口座・9230828
精神分析研究会・神戸 代表者 小林俊三



参加費 ※1

	精神分析セミナー	臨床講読会	グループSV
精神分析セミナーに参加される方	(一般の方) 60,000円 (大学院生) 30,000円	10,000円	10,000円
精神分析セミナーに参加の方	-	20,000円	20,000円

※1・・・一年一括前納です。セミナー開始後のキャンセル及び返金はお受けしておりません。ご了承ください。

精神分析セミナーについて

- **対象** 医師・臨床心理士・公認心理師/それに準ずる専門家/臨床心理系大学院生、かつ守秘義務を厳守いただける方。
- **ポイント** 受講は通年で、各回ごとの参加はできません。「参加認定証」は規程に従い7割以上の出席者に発行いたします。
(臨床心理士資格認定協会のポイント取得時に必要)

学会認定について

当研究会は以下の学会・認定協会の認定を受けています。

- 日本精神神経学会
- 日本精神分析学会
- 日本臨床心理士資格認定協会

事例応募について

発表を通して、ご自身の臨床を整理し、深める貴重な機会になると思われます。参加申込みの方には、一律に事例応募用紙をお送りします。発表初心者枠も設けていますので奮ってご発表ください。

研修ポイントについて

精神分析セミナーの「参加認定証」は認定基準に従い、7割以上の出席者に発行致します。

(臨床心理士資格認定協会4ポイント)

※臨床心理士協会からのアナウンスによりポイント数変更の必要性が生じた場合はすぐにホームページでお知らせします。

主催 精神分析研究会・神戸

Email bunseki-kobe@yacht.ocn.ne.jp

URL <https://bunseki-kobe.com>

所在地 〒650-0012 神戸市中央区北長狭通2丁目5-9
グランドプラザトアビル5階 小林メンタルクリニック内

詳しくは、精神分析研究会・神戸ホームページ
<https://bunseki-kobe.com>をご覧ください。

【運営委員】小林俊三（代表）／飯塚暁子／越道理恵／齊藤幸子／松村博史

<https://bunseki-kobe.com>

検索